



大野耕作さん▶  
(農協肥牛部委員長)



◀水野 隆さん  
(深川養鶏三階  
プロイラー部会長)

## ▼ 強引な政策とそれを支える若手政治家 ▲

■植木 とにかくこの国の発展の原因は国土が狭い、従って自国での農業は無理である。

食糧をはじめとし、貿易の完全自由化の断行、インフラクターチャーの整備等を政府が積極的に推進、強引とは思えるが政府の諸政策が効をそうしている。やはり日本と違って金権汚職がまずないだけに政府が国民に絶対的に信頼されているし、又、きれいな政治を行っている。政治家も四十歳代の若手を中心に日本のニューリーダーとちよつと違うな。

(笑)  
政策そのものにおいても突然の変更、子供は二人までしか生んではいけないという政府の方針。ところがある日、この国の将来の労働者人口の不足が予測される。これはいかん、この解消のために今度は生めよ！増せよ！運動の展開、又、ある日突然、豚を国内で飼育してはいけない。三年後には全部輸入に切り替える。国内には豚が一頭もいなくなるという法律の施行。日本ではとうてい無理だが、しかしこんな政策をどんだん行っている。シンガポールは不思議

な国だと思う。

■司会 入国二日目にジェトロ大使館、貿易発展局の表敬訪問を行いました。日本とシンガポールの相互経済協力について述べて下さい。

■宗本 日本からの進出企業は約九〇〇社、在留邦人約八千五百人でシンガポールの輸入の相手国の一番が日本、輸出については米国に続いて日本が第二位、それだけ日本とシンガポールは経済関係で深くかわりがあると思います。又、視察途中、シンガポール日本人学校の生徒に沢山出会いましたが、日本人でありながら日本に行った事のない日本人学生には驚きました。考えてみると悲しい気持ちもしますね。又、教育には力を入れており、小学校三年生で、日本で言う共通一次試験の実施、これを突破してはじめて高校、大学への進学、特に大学を無事に卒業すればもうOK、日本以上に学歴偏重の大きな国だと思いました。小学生で厚いメガネをかけた子供によく出会いましたが、よく勉強も

するんでしょね。(笑)

■大野 完全自由貿易国だけに船舶の寄港数も世界第一位で年間約三万五千隻の外国船が出入りしているし、日本からの経済協力、援助も大変なものである。又、年間約四十五万人の日本人観光客が訪れ、大きな外貨の獲得となっている。単純に計算してみても一日に約千三百人の日本人がシンガポールを訪れている事になる。(笑)

■金子 六十四年の一月より実施されるトレードVAN計画、これは画期的なものです。これも工業立国・シンガポールならではの出来ることで、内容はコンピューターにより輸出入品のすべてを完全オンライン化。このシステムが完全に実施されれば製品、食糧品のすべての品物の輸出入の手續が更にスピードアップし、シンガポールの一層の発展が望めますね。又、地理的にも益々世界の中心的な貿易基地として発展して行くと思われるし、日本との関係も今後、尚一層緊密になって行くと思います。

■植木 資源に乏しい国だけに日本をはじめ先進国、アセ



◀高層ビルにもランの花が……。

アン諸国を重視しているし、外国より資源を輸入し、それを加工し再輸出しているように、地形的にも水に乏しい為にマレーシアから水をもらっている。そういう関係でマレーシアとの関係を特に大切にしている。又、リークアンユー首相そのものの国際政治の手腕も表面には出ないで水面下で進めている。特に日本からアセアン諸国に対する援助に